



Power Pipe Booth

パワーパイプブース

組立手順書



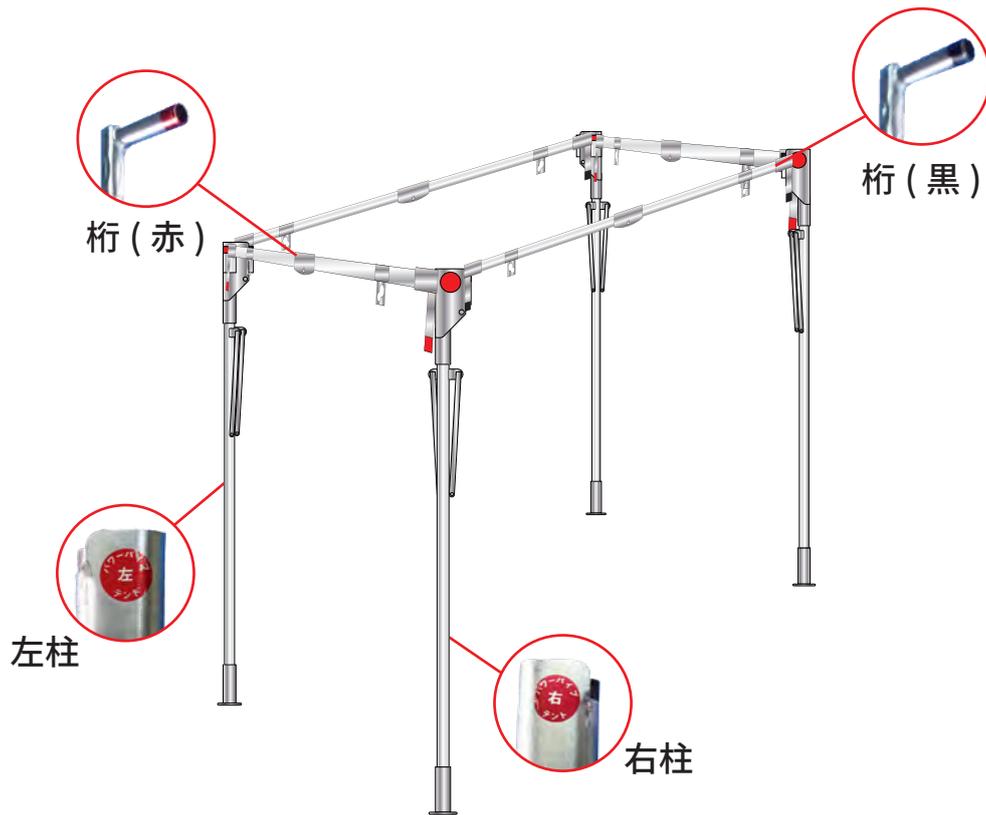


このたびは、かんたんな組立で間仕切り空間が作れるパワーパイプブースをご購入いただきまして、まことにありがとうございます。

安全にご使用いただくために

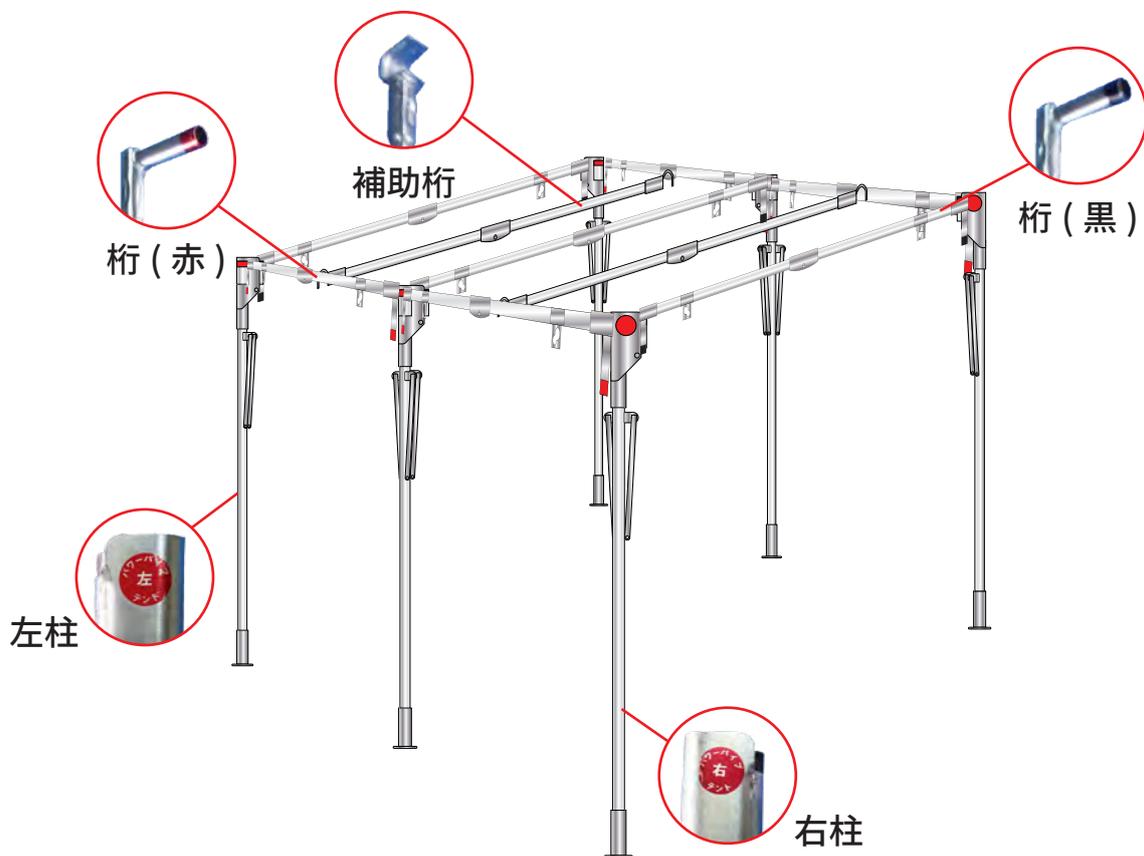
- 製品をご利用いただく前に本取扱説明書を熟読し、充分ににご理解いただく必要があります。
- 本取扱説明書は、実際にご使用いただくお客様の手元まで届くようご配慮ください。
- 本取扱説明書は、製品をお取り扱いいただく前にいつでも使用できるよう大切に保管してください。
- 製品は予告無しに変更することがあります。

Power Pipe Booth の構造図



4 本柱タイプ

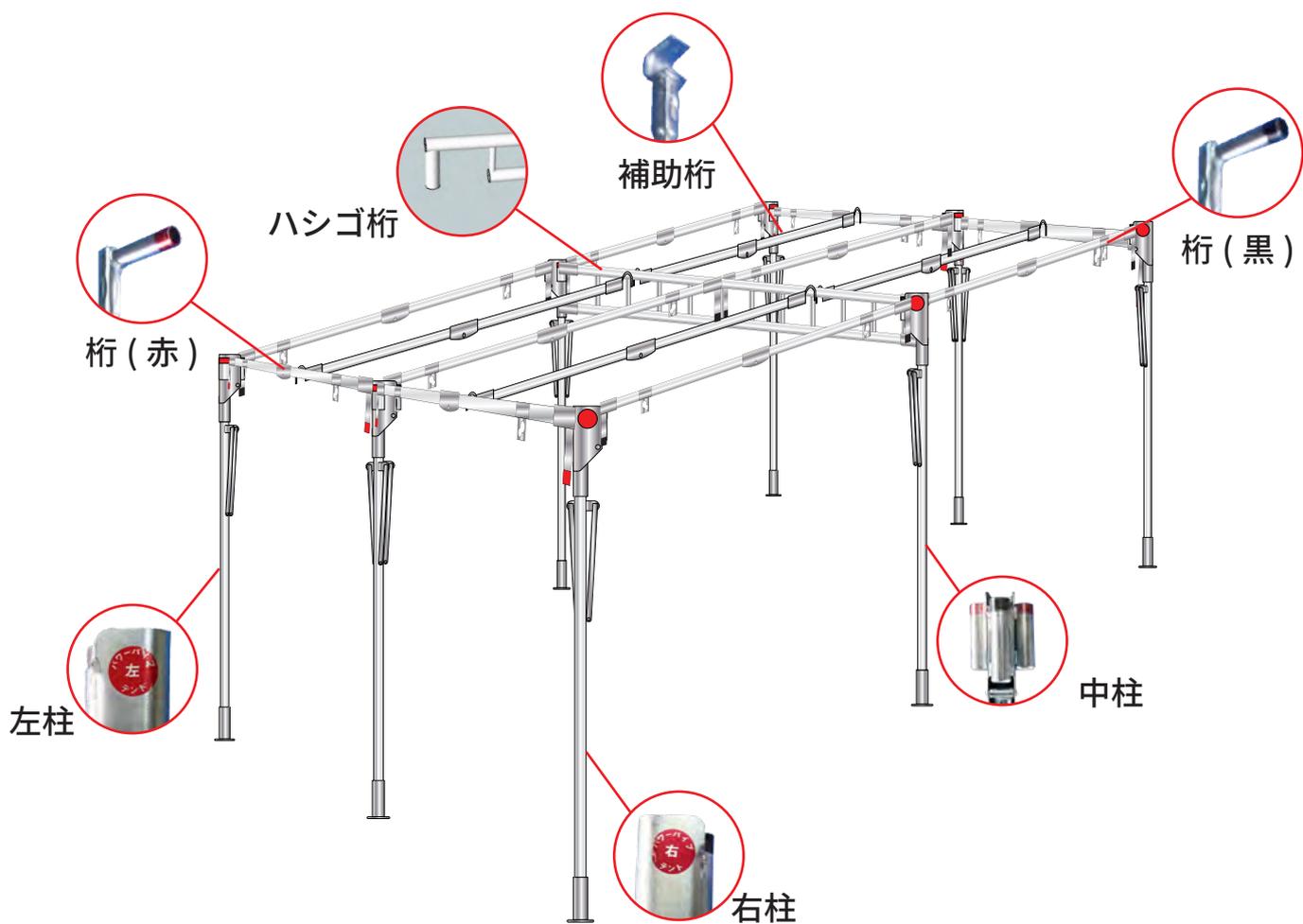
1K×1K・1K×1.5K・1K×2K・1.5K×1.5K・1.5K×2K・2K×2K



6 本柱タイプ

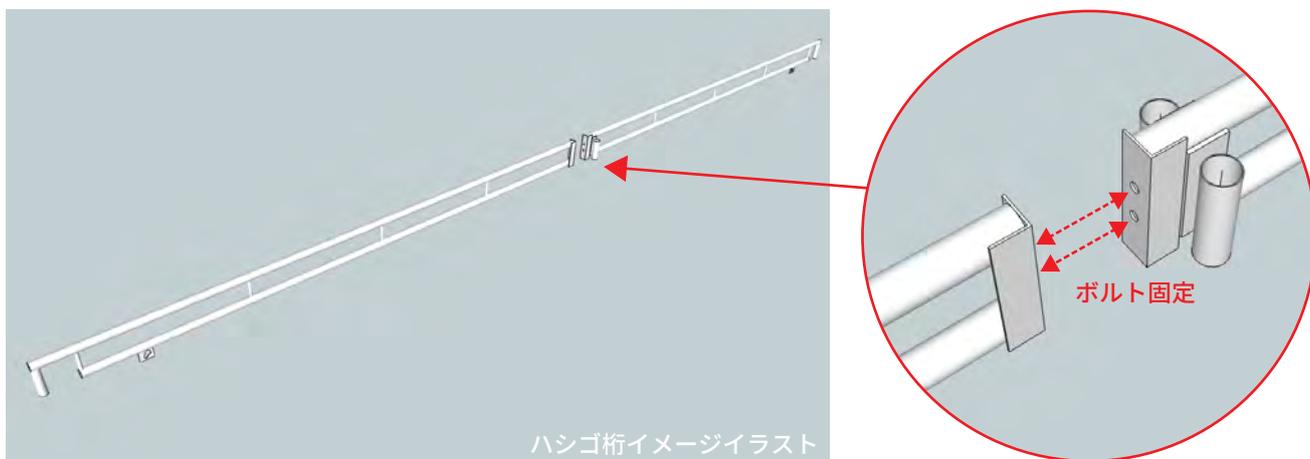
1K×3K・1K×4K・1.5K×3K・1.5K×4K・2K×3K・2K×4K

Power Pipe Booth の構造図



8 本柱タイプ 3K×3K・3K×4K

※8 本柱タイプのみハシゴ桁仕様です。

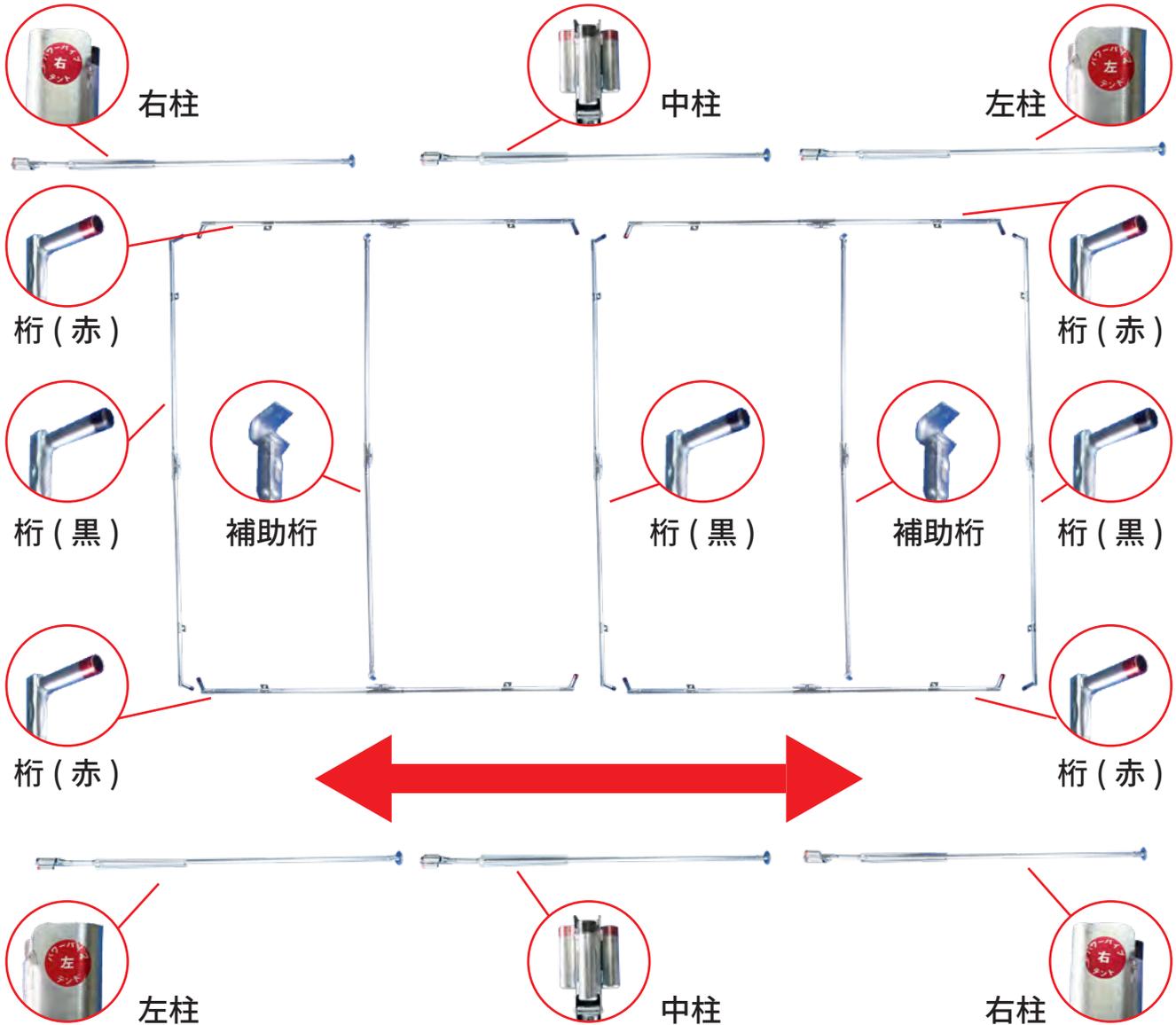


桁接合箇所はボルトを使用する為、スパナ・レンチ・インパクトいずれかのご準備を宜しくお願い致します。

Power Pipe Booth 組立手順

※写真は 2K×3K を例に説明しています。ブースの大きさは違いますが、他の既製品も手順は同じです。なお各パーツの名称は下記に記載しておりますので参照して下さい。

ステップ1 各パーツを配置する



※柱の配置について

赤印桁方面を基準として右柱・左柱の配置をしております。(黒印の方向の場合左右逆になります)

Power Pipe Booth を設置する際に、設置場所の確保ができる場合は、地面に部材を全て並べてから建込みすると差し込み違いなどが発生しにくいです。



ステップ2 パイプを差し込む



赤色の印がある柱のパイプ差し込み箇所へ赤色の印がある桁を差し込む。



黒色の印がある柱のパイプ差し込み箇所へ黒色の印がある桁を差し込む。



補助桁は桁へのせるだけで OK。

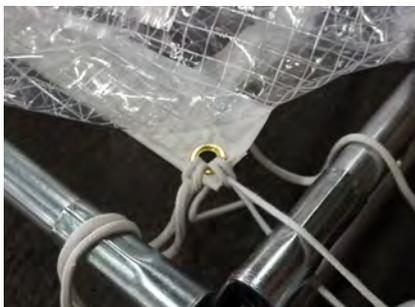


また、補助桁にはビス止め用とロープ止め用の穴が2か所開いている為、お好みで固定可能です。



事前に部材を並べた事により、組込みがかんたんになりました。

ステップ3 天井面へ生地を取付ける



天井面は生地に四方ロープが付いており、パイプへ結び付ければ完成です。
多少どちらかに生地が寄ってしまっても、生地の特性上塩ビは伸びますのでひっぱって頂くと綺麗に張れます。

ステップ4 柱をおこす



片側の柱をおこします。その際、桁を持つと柱から抜けて危険な為、持たないように気をつけておこします。



片側の柱をおこしたら柱の方杖を桁へ固定させます。そうする事により柱から桁パイプの抜け落ちを防止できます。



同様に反対側もおこし方杖で固定したら柱おこしの完成です。

ステップ5 横幕・横幕ファスナーを取付ける

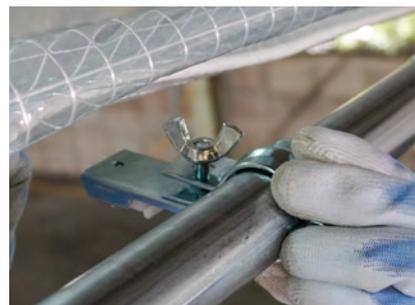


天面同様、横幕生地ハトメにロープが付いています。ロープを使い桁と柱へ結び固定して下さい。固定後天面生地四方、柱上部のマジックテープをかさねます。

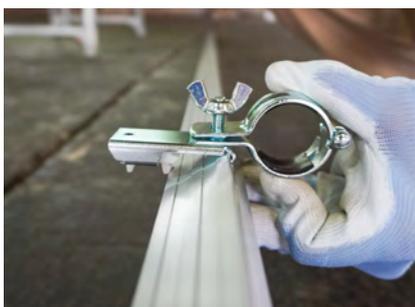


以上で横幕・横幕ファスナー付の取付が完了となります。

ステップ6 レールの取付



パイプバンド付ブラケットをカーテンレールを取付けたい桁へ固定します。(レールはパイプの内側の位置になります) 蝶ナットを締めるだけのかんたん構造となっております。



パイプバンド付ブラケットをカーテンレールの溝へ引っ掛けてレールを押し込めば取付完了となります。

ステップ7 カーテンの取付



ワンタッチランナーへカーテンハトメ箇所を取付けます。



以上でカーテンの取付が完了となります。

